

令和六年十一月冠沓句

集句 二十七 句

多様性強みを活かすこ神業

思うまましているはずがさせられて

貝塚 伊藤 香

あきらめず次の世代を育くもう

一日を神言奉^おげて省みる

多様性みんないきいき生きていく

思うまま話せて嬉しわが思い

三島 神門 明子

あきらめず復興願う能登の春

とらわれし固定観念省みる

多様性身魂をつねにやわらかく

思うまままず一呼吸発言を

城東 柳川 祐子

あきらめずプラごみ削減海おもう

こ神前今日の一日を省みる

思うまま気の向くままに正直に

あきらめず環境問題考える

枚方 小笹 順子

年重ね私の歩みを省みる

多様性理解し合いて和合する

多様性価値観認め助け合う

思うまま友らと遊ぶ幼孫

三島 谷内 いつみ

あきらめず頭とからだ鍛えよう

こ神書を読むたび深く省みる

思うまま一人くらしは信仰に

思うまま生きる人生ありがたい

三島 足立しげ子

あきらめず出来上がり見るうれしさに

多様性認める未来はみろくの世

ありのまま行動せよと教えられ

三島 足立 正文

あきらめず毎月続ける冠沓句

月次祭お神酒飲みすぎ省みる

★天位 多様性理解し合いて和合する

枚方分所

小笹 順子